

ISSN 1881 - 980X

一般社団法人日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発行：中山 迅
事務局：中西印刷株式会社 学会部内
URL：<http://www.jsse.jp>

2014.10.15

NO.219

科学教育研究レター



目 次

- | | | | |
|----------------------|---------|---------------------|---------|
| ■ 理事会だより | ……………2 | ■ 国際交流委員会だより | ……………13 |
| 第 261 回理事会報告 | | 国際ランチョン・ミーティング実施報告 | |
| 第 262 回理事会報告 (案) | | 国際学会開催情報 | |
| 第 263 回理事会報告 (案) | | ■ 若手の会 | ……………15 |
| 2014 年度顧問・理事・評議員・ | | 第 38 回年会・若手の会報告 | |
| 代議員・支部長合同会議報告 | | ■ 若手活性化委員会だより | ……………15 |
| ■ 年会 | ……………9 | 委員会発足・研究会開催のお知らせ | |
| 第 38 回年会開催報告 | | ■ 編集委員会だより | ……………16 |
| 第 39 回年会開催案内 (第 1 次) | | 2014 年度第 1 回編集委員会報告 | |
| ■ 研究会・支部だより | ……………11 | ■ 広報委員会からのお知らせ | ……………17 |
| 2014 年度研究会開催のお知らせ | | | |

日本科学教育学会第 261 回理事会報告

下記に第 261 回理事会報告を掲載します。なお、要点のみを参考に掲載するものです。

日 時 2014 年 6 月 21 日（土）14:00～17:00
会 場 コクヨ 品川オフィス会議室
出席者 会長 中山
副会長 余田 片平
理事 飯島 猿田 銀島 今村 久保田 谷塚 鈴木 小山
隅田 千葉 懸 日野 高藤
監事 熊野
委員会 吉川（編集）

1. 議事要録（案）の承認

- 第 260 回理事会議事録（案）が承認された

2. 第 261 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果

- 事務局からの発議により、3 月 31 日までに入会を希望した 4 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された（4 月 10 日）。
- 事務局からの発議により、4 月 30 日までに入会を希望した 9 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された（5 月 10 日）。
- 事務局からの発議により、5 月 31 日までに入会を希望した 19 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された（6 月 10 日）。
- 事務局からの発議により、5 月 31 日までにシニア会員を希望した 2 名を電子会議により審査した結果、全員のシニア会員が承認された（5 月 25 日）。

3. 報告事項

1) 庶務・事務局

事務局より文書受理(刊行物送付を含む)の報告があった。

2) 経理・会員

- 監査の見直しなどに関する報告があった。

3) 機関誌編集

- 「科学教育研究」の編集状況について報告があった。

4) 学会賞

○ 学会賞推薦用紙の記載枚数制限の設定や事後投票について報告があった。

5) 支部・研究会

○ 支部・研究会活動について報告があった。

○ 研究会報告の web 公開について確認することと、今後の(研究会開催前での)web 公開についての依頼があった。

6) 調査研究・学術交流

○ 他学会・協会でのシンポジウムなどについての報告があった。

7) 国際交流

○ 年会における国際ランチョンミーティングについて報告があった。

8) 年会企画

○ 第 38 回年会の準備状況と第 39 回年会の日程についての報告があった。

9) 広報・学会 IT 化

○ 学会通信 2014 の編集・発送日程(案)について報告があった。

○ 学会 Web サイトの一般社団法人化等への対応について報告があった。

○ 国立国会図書館「オンライン資料収集制度」登録完了について報告があった。

○ 代議員選挙及び役員候補者選挙の投票の電子化について報告があった。

10) 組織改革

○ なし。

11) その他

○ 電子化部会より：機関紙の電子化の進捗状況について報告があった。

4. 協議事項

1) 退会希望者等について

○ 退会希望者 11 名の承認について

*現在会員数 1,387 名(正会員 1,247 名、学生会員 122 名、名誉会員 11 名、公共会員 2 名、賛助会員 3 名、シニア会員 2 名)(2014 年 6 月 16 日付)

2) 代議員選挙および役員候補者選挙について

○ 資料に基づいて提案され、了承された。

○ 会長推薦(2 名)に関して、後でメール審議することにした。

3) 第 38 回総会資料について

○ 資料に基づき提案し、承認した。

4)学会賞

- 学会賞の選考について
- 学会賞選考委員会による選考結果として、奨励賞 3 件(泉 直志、奥山英登、辻山洋介)、科学教育実践賞 2 件(中村公一、サイエンスキャラバン科学教育実践研究会ならびに<井上徳也、仲矢史雄、小西伴尚>)、論文賞 1 件(新田英雄)が報告され、了承された。
- 学会功労賞の新設について
- 前向きに継続審議することにした。

日本科学教育学会第 262 回理事会報告 (案)



下記に第 262 回理事会報告 (案) を掲載します。なお、これは議事要録承認前のものであり、要点のみを参考に掲載するものです。

日 時 2014 年 9 月 13 日 (土) 17:00~18:00

会 場 埼玉大学教育学部 A 棟 211 講義室

出席者 会長 中山

副会長 余田 片平

理事 小川 飯島 猿田 益子 銀島 寺田 小山 稲垣 今村

鈴木 懸 清水 隅田 千葉 高藤 日野 久保田 谷塚

監事 堀 熊野

事務局長 土田

幹事 青山

委員会 吉川 (編集)

1. 議事要録 (案) の承認

- 第 261 回理事会議事録 (案) を承認した。

2. 第 262 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果を承認した。

- 事務局からの発議により、6 月 30 日までに入会を希望した 20 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された (7 月 10 日)。
- 事務局からの発議により、7 月 31 日までに入会を希望した 9 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された (8 月 10 日)。
- 事務局からの発議により、8 月 31 日までに入会を希望した 11 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された (9 月 10 日)。

- 事務局からの発議により、6月30日までにシニア会員を希望し11名を電子会議により審査した結果、全員のシニア会員が承認された（7月10日）。（なお、その中の1名は次年度からシニア会員になることが承認された）
- 事務局からの発議により、7月31日までにシニア会員を希望し2名を電子会議により審査した結果、全員のシニア会員が承認された（8月10日）。

3. 報告事項

1) 庶務・事務局

- 事務局より文書受理（刊行物送付を含む）の報告があった。

2) 経理・会員

- なし。

3) 機関誌編集

- 「科学教育研究」の編集状況について報告があった。

4) 学会賞

- 第38回年会表彰式において大塚賞の副賞贈呈が行われる旨の報告があった。

5) 支部・研究会

- 研究会研究報告のWeb公開に向け、24年度以前の研究会報告の収集が完了し、25年度については中国及び北関東を除いて集められている旨の報告があった。
- 研究会開催用業務マニュアルの作成状況について報告があった。

6) 調査研究・学术交流

- 今後の他学会との合同シンポジウム開催の計画について報告があった。

7) 国際交流

- 第38回年会中に国際ランチョンミーティングを実施する旨のアナウンスがあった。

8) 年会企画

- 第38回年会の参加人数等の状況について報告があった。

9) 広報・学会IT化

- 役員候補者選挙及び代議員選挙の電子投票に関するこれまでの検討状況について報告があり、今後の課題が提示された。

10) 組織改革

- なし。

11) その他

○なし。

4. 協議事項

1) 退会希望者等について

○ 退会希望者 44 名のうち、1 名の退会希望者について保留とし、その他の退会を承認した。

* 現在会員数 1,397 名（正会員 1,226 名、学生会員 140 名、名誉会員 11 名、公共会員 2 名、賛助会員 3 名、シニア会員 15 名）（2014 年 9 月 1 日付）

○ 除籍対象である 3 名について連絡・確認を取る事となった。

2) 経理]

○ 学会誌年間購読料について、消費税増税に伴い、次年度刊行の 39 号から学会誌の年間購読料を 400 円値上げすることで承認した。

3) 編集委員会

○ 編集委員会の新委員構成について提案の通り承認した。

4) 支部・研究会

○ 研究会研究報告の Web 公開について、今後業務委託を含めて検討する方向で承認した。

○ 支部規程（案）と研究会規程（案）の両方を承認した。

一般社団法人日本科学教育学会第 263 回理事会報告（案）

下記に第 263 回理事会報告（案）を掲載します。なお、これは議事要録承認前のものであり、要点のみを参考に掲載するものです。

日 時 2014 年 9 月 15 日（月） 11:30～12:30

会 場 埼玉大学教育学部 A 棟 211 講義室

出席者 会長 中山

副会長 余田 吉岡

理事 飯島 佐伯 益子 坂谷内 寺田 村山 清水 三宅

鈴木誠 鈴木栄幸 稲垣 荻原 千葉 山下 日野 加藤
谷塚

監事 熊野 片平

事務局長 吉川

幹事 青山

委員会 隅田（国際交流） 松浦（年会企画）

1. 代表理事(会長)の選出

- 中山理事が代表理事（会長）に選出された。

2. 理事の会務分担、委員長・副委員長・幹事の委嘱、部会の設置、委員会の設置等

- 理事の会務分担について原案通り承認された。
- 事務局長の委嘱について吉川厚会員に委嘱した。
- 編集委員長、副委員長の委嘱について久保田善彦会員、山下修一会員（副）、山田篤史会員に委嘱した。
- 年会企画委員長、副委員長の委嘱について松浦拓也会員、松寄昭雄会員（副）、高藤清美会員（副）委嘱した。
- 幹事（庶務）の委嘱について青山和裕会員に委嘱した。
- 支部・研究会の幹事について2名体制にしたい旨の提案があり承認した。
- 電子化部会の設置について吉岡副会長を部会長、その他の構成は、編集、年会企画、支部・研究会、経理・会員、庶務、広報 IT 化の各担当理事及び委員長ということで承認した。
- 電子部会用 ml を作成することとした。
- 若手活性化委員会の設置に向けて9月末にかけてメール審議を進めることとなった。

3. 報告事項

1) 年会企画

- 第38回年会について417名の参加が得られた旨報告があった。
- 第39回年会の日程について、山形大学において2015年8月21日（金）～23日（日）に実施する旨報告があった。
- 年会企画委員長、副委員長の委嘱について松浦拓也会員、松寄昭雄会員（副）、高藤清美会員（副）に委嘱した。

2) 経理

- 旅費・弁当等の支払いについて説明があった。
- 役員の印鑑証明書の代金、交通費としての支出として、一律1000円とする旨の報告があった。

3) 編集委員会

- 編集委員会の際の弁当代支出の方針について報告された。

4) 国際交流委員会

- 隅田学会員に委員長を委嘱した。

4. 協議事項

1) 編集委員会の委員構成

○ 第 262 回理事会で承認済みの編集委員構成に、委員長、副委員長、担当理事を追加して改めて了承された。

2) 年会企画委員会の委員構成

○ 資料に基づき報告があり承認した。

3) 広報委員会の委員構成

○ 資料に基づき報告があり承認した。

4) 支部・研究会

○ 幹事の人選等について提案があり承認した。

○ 支部規程と研究会規程の両方が制定された。

5. 次回以降の理事会予定

・ 第 264 回：2014 年 11 月 15 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス

・ 第 265 回：2015 年 3 月 14 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス

・ 第 266 回：2015 年 6 月 20 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス

・ 第 267 回：2015 年 8 月日時未定 場所:山形大学

2014 年度顧問・理事・評議員・代議員・支部長合同会議報告



日時：2014年9月13日（土）17:30～18:00

会場：埼玉大学 教育学部A棟2階 講義室

2014 年度顧問・理事・評議員・代議員・支部長合同会議は、会長、幹事、年会実行委員の他、顧問（2 名）、支部長（3 名）、代議員（9 名）、評議委員（7 名）、理事（12 名）が出席して開催された。まず中山 迅会長と清水 誠年会実行委委員長の挨拶、中山 迅会長と余田義彦副会長から、法人化に向けた留意点、総会での審議事項、さらに今後の検討課題を含めて説明があり、参会者からこれらについて質問や意見が出された。その後各自の自己紹介を行い、終了した。

第 38 回年会 開催報告

日本科学教育学会第 38 回年会は、2014 年 9 月 13 日（土）～15 日（月）の 3 日間の日程で、埼玉大学と大宮ソニックシティにおいて開催されました。

今回は、「学びの原点への回帰・イノベティブ人材育成のための科学教育研究」をテーマに、シンポジウム 1 件、招待講演 1 件、課題研究 22 セッション、一般研究 20 セッション、インタラクティブセッション 29 件、懇親会、総会、各種委員会などのプログラムで、事前申込 246 名、当日参加 179 名の参加者と、年会実行委員会企画「小中学校教員研修 全国の CST（コア・サイエンス・ティーチャー）から学ぼう」に 93 名（小学校 29 名、中学校 23 名、その他・関係者 41 名）、企業、埼玉大学関係者及び運営に携わったスタッフを含め、総勢 600 名近い参加者となり、盛況のうちに終えることができました。ありがとうございました。

埼玉大学には講堂がないため、大会 2 日目は、大宮ソニックシティに移動して招待講演・総会・シンポジウム・懇親会などを実施させていただきました。2つの会場での開催のため、会場設営もその都度設営することになるなど、予想以上の難儀を伴いましたが、現職教員・院生・学生等のスタッフ 46 名が献身的に仕事をしてくれました。院生・学生たちについて、多くの皆様から姿勢が良いとお褒めの言葉をいただき、私たち教員も彼らを少なからず誇らしく感じられる機会となりました。

今回の年会では、参加費を減額させていただきました。できるだけ、多くの方が参加しやすい大会となるよう努めた次第です。また、実行委員会企画で実施しました CST イベントは、参加費無料で数多くの現職小中学校教員に参加していただき、学会員との交流も活発に行われていました。これに関連して、企業 8 社からも要旨集に広告を掲載いただき、かつ、製品展示をしていただきました。多くの学会員や小中学校教員が、展示のブースに立ち寄り、最新の教材や機器などの説明を聞いていました。

一方で、銀行振込をしたはずなのに受付の名簿に記録が載っていないという大変なミスを起こしてしまいました。チェックが不十分だったことが原因です。他にも、不備な部分があり、ご迷惑をおかけしました方々に心よりお詫び申し上げます。

最後になりましたが、埼玉大学にご参集いただき、活発な議論を通して実りある大会にさせていただいた会員の皆様に厚くお礼申し上げます。また、本年会の開催に当たり、年会企画委員会の谷塚光典先生を始めとする企画委員の皆様、協賛・後援をいただいた各団体の皆様、スタッフとして運営に協力いただいた皆様には大変お世話になりました。深く感謝いたします。

日本科学教育学会第 38 回年会実行委員会委員長 清水 誠

第 39 回年会 開催案内 (第 1 次)

1. 日程 : 2015 年 8 月 21 日 (金) ~ 23 日 (日) (3 日間)
2. 会場 : 山形大学小白川キャンパス
3. 連絡先 : 日本科学教育学会第 39 回年会実行委員会
〒990-8560 山形県山形市小白川町 1-4-12
山形大学地域教育文化学部 今村哲史・鈴木宏昭

2014年度研究会開催のお知らせ

2014年度第1回研究会の開催に関しては、下記の通りです。なお、案内及びプログラムなどの詳細については、学会ホームページに順次掲載するので、ご覧ください。なお、研究会での発表資格を持つのは本学会正会員および学生会員です。単名または連名発表者に1名以上の会員を含む必要がありますのでご注意ください。

(1) 2014年度第1回研究会（九州沖縄支部開催）（*発表申し込みは締め切りました）

2014年度日本科学教育学会第1回研究会（九州沖縄支部開催）を下記の日時・場所で実施します。テーマ以外の科学教育全般に関する研究発表も歓迎いたしますので、是非ご参加ください。

[日 時] 2014年11月8日（土）10:00～17:00（9:30受付開始） 予定

[会 場] 福岡教育大学（共通講義棟2階）※発表会場 203 教室、204 教室

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町 1-1

[参 加] 発表の有無にかかわらず参加できます。会員でない方も参加できます。

[問い合わせ先] 第1回研究会企画編集委員 坂本憲明（福岡教育大学理科教育講座）

E-mail *sakamoto [at mark] fukuoka-edu.ac.jp*

TEL: : 0940-35-1359（坂本研究室） FAX : 0940-35-1740

(2) 2014年度第2回研究会（東北支部開催）

[テーマ] 確かな学力を育む科学教育の実践

[主 催] 日本科学教育学会

[後 援] 山形県教育委員会、山形市教育委員会

[日 時] 2014年11月30日（日）10:00～17:00（9:30受付開始）

[会 場] 山形大学小白川キャンパス 地域教育文化学部1号館

〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12

[参 加] 発表の有無にかかわらず参加できます。会員でない方も参加できます。

参加費は無料です。

[問い合わせ先] 第2回研究会企画編集委員 鈴木宏昭（山形大学地域教育文化学部）

Email : *hsuzuki [at mark] e.yamagata-u.ac.jp*

Tel&FAX : 023-628-4427

*発表申し込み締切は、2014年10月24日（金）です。

(3) 2014 年度第 3 回研究会（若手活性化委員会企画）

[テーマ] 次世代の科学教育研究

[日 時] 2014 年 12 月 13 日（土）13:00-17:00（12:30 受付開始）予定

[会 場] 神戸大学人間発達環境学研究科 大会議室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲 3-11

[発 表] 発表はポスターセッション形式となります。特に 40 歳未満の方の発表を歓迎いたします。

[参 加] 発表の有無にかかわらず参加できます。会員でない方も参加できます。

[問い合わせ先] 若手活性化委員会幹事 江草遼平（神戸大学人間発達環境学研究科）

E-mail : 126d103d[at mark]stu.kobe-u.ac.jp

*発表申込み締切は、2014 年 11 月 7 日（金）です。

(4) 2014 年度第 4 回研究会（北陸甲信越支部開催）

[テーマ] 近未来の教育諸課題に応える科学教育実践への視座

[主 催] 日本科学教育学会

[日 時] 2015 年 2 月 28 日（土）10:00-16:00

[会 場] 信州大学教育学部 北校舎 N101 教室

〒380-8544 長野県長野市大字西長野 6-ロ 信州大学教育学部

[参 加] 発表の有無にかかわらず参加できます。会員でない方もご参加いただけます。

参加費は無料です。

[問い合わせ先] 第 4 回研究会企画編集委員 三崎 隆（信州大学学術研究院教育学系）

E-mail : misaki[at mark]shinshu-u.ac.jp（三崎隆）

TEL/FAX : 026-238-4111

*発表申込〆切は、2015 年 1 月 9 日（金）です。

原稿送付〆切は、2015 年 1 月 30 日（金）です。

(5) 2014 年度の研究会開催予定

2014 年度 1 月以降の研究会の開催については、次の通りである。

- ・ 南関東支部開催：2015 年 3 月（計画中）
- ・ 四国支部開催：2015 年 5 月（計画中）
- ・ 北関東支部開催：2015 年（計画中）
- ・ 東海支部開催：2015 年（計画中）
- ・ 中国支部開催：2015 年（計画中）

国際ランチョン・ミーティング実施報告

日本科学教育学会第38回年会2日目の9月14日(土)の昼食時間に、国際ランチョン・ミーティング・国際学会参加のススメが開催されました。大宮ソニックシティビル4階の市民ホール第3集会室には、当初の予想を遥かに越える50名近い方々が参加し、盛況のうちに終えることができました。

今回のランチョン・ミーティングは、学会参加者同士が気軽に交流する機会を設け、それぞれの経験を共有しながら国際学会や国際交流事業への参加のきっかけとしてもらうことを目的として開催されました。2014年1月に韓国で行われたEASE(東アジア科学教育学会)主催のウィンタースクールの参加者とOB・OGとで企画し、国際交流委員会から軽食の提供をして頂き、行われたものです。企画・運営を担当したのは、アリス・ラロダー(東京理科大学大学院)、雲財寛(広島大学大学院)、エイプリル・ダフネ(千葉大学)、高松森一郎(ぐんま国際アカデミー中等部)、山田真子(広島大学大学院)、吉田実久(コペンハーゲン大学)です。

当日は、はじめに隅田学国際交流委員会委員長より挨拶があり、その後吉田実久(コペンハーゲン大学)から英語での発表のコツについての発表、そして雲財寛(広島大学大学院)からEASEウィンタースクールの参加報告がありました。また、学会に参加していたEASEの理事・幹事も務める香港大学のAlice Wong先生、Maurice Cheng先生からEASEの紹介もあり、様々な参加者同士での交流が見られました。最後に千葉和義国際交流委員会副委員長より「多くの方に参加して頂きとても良かったです。来年も継続して行いたい」と締めのお言葉を頂きました。アンケート(回答数22)にも、「非常に充実した時間を過ごせました」、「楽しかったです。普段、接することができない人と接しました」といった声が寄せられ、「とてもおもしろい企画でした。次年度以降も継続してください」といった次年度も是非継続して欲しいという声を多く頂きました。

最後に、ご協力頂いた国際交流委員会、広報委員会、年会企画委員会の方々、当日ご協力下さった皆様、参加者の方々に感謝申し上げます。来年度も継続して開催していきたいと思いますので、皆様是非ご参加下さい。



(コペンハーゲン大学科学教育研究科・吉田実久)

国際学会開催情報

今後、下記の6つの国際学会が開催予定である。詳細については、各ホームページをご参照いただきたい。

1) International Science Education Conference 2014

開催地：National Institute of Education, Singapore

期間：2014年11月25日～27日

<http://www.isec2014.org/>

2) The 2nd International History, Philosophy and Science Teaching Asian Regional Conference

開催地：Howard Civil Service International House, Taipei, Taiwan

期間：2014年12月4日～7日

<http://www.sec.ntnu.edu.tw/ihpst2014/>

(愛媛大学教育学部・隅田学)

3) iSER 2014 World Conference

開催地：Cappadocia, Turkey

期間：October 29 - November 2, 2014

<http://iser-icer.net/>

(千葉大学教育学部・山下修一)

4) 11th International Conference on Computer Supported Collaborative Learning

開催地：the University of Gothenburg, Gothenburg, Sweden

期間：2015年6月7日～6月11日

締切：2014年11月17日(論文投稿締切)

<http://www.isls.org/cscl2015/index.html>

5) E-Learn2014: World Conference on E-Learning

開催地：Sheraton New Orleans Hotel, New Orleans, LA, USA

期間：2014年10月27日～30日

<http://www.aace.org/conf/elearn/>

6) SITE2015: Society for Information Technology and Teacher Education

開催地：Rio Las Vegas Hotel & Casino, Las Vegas, NV, USA

期間：2015年3月2日～6日

締切：2014年10月23日(論文投稿締切) 2015年1月30日(早期参加登録締切)

<http://site.aace.org/conf/>

(専修大学ネットワーク情報学部・望月俊男)

第38回年会 若手の会 報告

若手の会は、年会の前日9/12（金）の夜に、大宮駅近くのお店で開催しました。参加者数は、企画担当委員を含めて、約13名でした。20代、30代に限らず、さまざまな年齢層の方々にご参加頂きました。

会合では、専門分野の異なる「若手」が、それぞれの興味・関心について気さくな雰囲気でお話し合うことで、普段とは違う刺激を受けたり、科学教育の今後の展望なども語り合ったりしました。ご参加頂いたみなさま、ご支援頂いたみなさまに感謝申し上げます。

■ 第38回年会「若手の会」企画担当委員

加藤久恵（兵庫教育大学） *katohi [at mark] hyogo-u.ac.jp*

増田有紀（東京成徳大学） *y-masuda [at mark] tsu.ac.jp*

向 平和（愛媛大学） *muko [at mark] ed.ehime-u.ac.jp*

若手活性化委員会だより

委員会発足・研究会開催のお知らせ

若手活性化委員会（委員長：杉本雅則（北海道大学）、副委員長：舟生日出男（創価大学））が発足しました。この委員会の目的は、次世代の科学教育研究を担う若い研究者の研究や学会活動を支援することをおして、本学会の活動をさらに盛り上げていくことにあります。そのための様々なイベントや方策を計画しています。今後会員のみなさんに御協力をお願いすることがあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

早速ですが、12月13日に、神戸大学において本委員会企画の最初のイベントとして「次世代の科学教育研究」というテーマで研究会を開催することになりました。若手研究者による科学教育に関わる研究を広く募ります。この研究会では、ポスターセッション形式を採用することで、若手研究者同士の交流を図るとともに、発表者が、研究を進めるための示唆やコメントを多く得られるようにしたいと考えています。是非ともご発表をご検討くださいますよう、お願ひいたします。詳しくは、本レターの「研究会・支部だより」もしくは学会Webページをご覧ください。

2014 年度第 1 回編集委員会報告

2014 年 9 月 13 日（土）11:30～12:30、2014 年度第 1 回編集委員会が埼玉大学大久保キャンパス E 会場において開催された。

まず、編集委員の紹介が行われた。次に、退任委員、再任委員、新任委員、編集委員会査読規程および、査読の流れと方針について、寺田編集担当理事より説明があった。

次に、「科学教育研究」の編集状況の報告が行われた。新規投稿論文（2014.6.1～2014.8.31）：15 編（内訳：和文 13 編、英文 2 編）、査読中論文（2014.8.31 現在）：18 編（内訳：担当編集委員選定中：4 編、査読中（1 回目）：6 編、総合判定中（第 1 回目）：1 編、改訂稿待ち：4 編、査読中（2 回目）：3 編）、掲載決定論文（2014.6.1～2014.8.31 現在）：3 編（内訳：研究論文 2 編、資料 1 編（通算合計 38-3：5 編、38-4：1 編）また、特集（39-2、科学と技術）の論文募集締め切りを 1 ヶ月延長したことについて、報告があった。

最後に、寺田編集担当理事から、J-STAGE における運用が開始された「科学教育研究」の閲覧方法について、資料をもとに報告があった。

次回、2015 年度第 1 回編集委員会は、2015 年 8 月 21～23 日の年会中に開催を予定（於 山形大学）している。2014 年度第 1 回編集理事会は、2014 年 11 月 15 日（土）11 時から 14 時、場所はコクヨ品川オフィスを予定している。

「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

（平成26年8月31日 現在）

	新規投稿論文数（編）		審査中（編）		掲載決定論文数（掲載号）		招待論文数（掲載号）		掲載不可論文数	
	和文	英文	和文	英文	和文	英文	和文	英文	掲載不可	辞退
2013年 9月	9	1	29	1	3 (37-4) 0 (38-1)	0 (37-4) 0 (38-1)	0		4	1
10月	16	0	37	1	1 (37-4) 0 (38-1)	0 (37-4) 0 (38-1)	0		7	0
11月	6	1	36	2	2 (38-1) 0 (38-2)	0 (38-1) 0 (38-2)	0		5	1
12月	5	0	35	1	2 (38-1) 0 (38-2)	0 (38-1) 0 (38-2)	0		4	1
2014年 1月	4	0	32	1	1 (38-1) 1 (38-2)	0 (38-1) 0 (38-2)	0		3	2
2月	1	0	27	1	0 (38-1) 2 (38-2)	0 (38-1) 0 (38-2)	0		4	0
3月	4	0	24	1	4 (38-2) 0 (38-3)	0 (38-2) 0 (38-3)	0		3	0
4月	4	0	19	1	3 (38-2) 0 (38-3)	0 (38-2) 0 (38-3)	1 (38-2)		4	2
5月	5	0	16	0	3 (38-3) 0 (38-4)	0 (38-3) 0 (38-4)	0		5	1
6月	7	2	18	2	1 (38-3) 0 (38-4)	0 (38-3) 0 (38-4)	0		4	0
7月	3	0	19	2	1 (38-3) 0 (38-4)	0 (38-3) 0 (38-4)	0		1	0
8月	3	0	17	1	1 (38-4) 0 (39-1)	0 (38-4) 0 (39-1)	0		5	0

招待論文については、新規投稿数、審査中論文数に加えておりません

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 219 号をお届けします。

新メンバーとなった広報委員会としての最初の『科学教育研究レター』になります。この体制でこれから 2 年間、『科学教育研究レター』と『学会通信』の編集と発行、そして、学会 Web サイトの管理などを行っていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人となった日本科学教育学会の広報活動についてお気づきの点などがございましたら、学会 Web サイトにある「お問い合わせ」(Web メール) をご利用のうえ、お知らせください。

担当理事：谷塚光典 (信州大)	森田裕介 (早稲田大)	
委員：渡邊慶子 (滋賀大)	久保田善彦 (宇都宮大)	鈴木 誠 (北海道大)
萩原 彰 (三重大)	清水美憲 (筑波大)	望月俊男 (専修大)
谷田親彦 (広島大)	辻 宏子 (明治学院大)	
幹 事：内ノ倉真吾 (鹿児島大)	小松孝太郎 (信州大)	

科学教育研究レター編集・印刷 日本科学教育学会広報委員会

一般社団法人日本科学教育学会

Japan Society for Science Education

URL : <http://www.jsse.jp>

□ 事務局 中西印刷 (株) 学会部 内

TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662

E-mail : [jsse \[at mark\] nacos.com](mailto:jsse[at mark]nacos.com)

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

□ 編集事務局 (論文投稿・査読編集)

TEL : 075-415-3155 FAX : 075-417-2050

E-mail : [jsse-hen \[at mark\] nacos.com](mailto:jsse-hen[at mark]nacos.com)

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座 : 00170-6-85183 日本科学教育学会

銀行口座 : みずほ銀行 京都中央支店 普通 2269008 日本科学教育学会